（様式１）

※　提出の際は赤字の説明部分を削除してください

**大阪大学 起業シーズ育成グラント**

**申請書**

　年　月　日提出

**1. 基本情報**

**1.1 案件情報**（公開対象：「申請案件名」「研究分野」）

|  |  |
| --- | --- |
| **申請案件名** |  |
| **研究分野** | **ライフイノベーション　グリーンイノベーション**  **ナノテクノロジー・材料　情報通信技術　社会基盤** |

**1.2 大阪大学の研究代表者情報**（公開対象：「研究代表者氏名」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究代表者氏名** |  | **研究代表者**  **フリガナ** |  |
| **所属・役職** |  | | |
| **TEL** |  | **FAX** |  |
| **e-mail** |  | | |
| **申請者氏名**  ※学生の場合 |  | **申請者**  **フリガナ** |  |
| **所属・学年**  ※あれば配属研究室名も |  | | |
| **TEL**  ※携帯電話・研究室等 |  | **e-mail**  ※複数可、大学アドレス必須 |  |

**1.3 ベンチャーキャピタルの情報**

　既にベンチャーキャピタルによる事業化支援を受けている場合は記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **機関名** |  | | | |
| **担当者氏名** |  | | **フリガナ** |  |
| **所属部署** |  | | **役職** |  |
| **郵便番号** |  | **住所** |  | |
| **TEL** |  | | **FAX** |  |
| **e-mail** |  | | | |

**2.技術シーズ**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 |  | | | | | |
| 概要 | * 社会的背景も含めて、技術シーズの概要（最新のトピックス等）を簡潔に記載 * 技術シーズの内容が分かる補足資料（A4 10ページ以内）を添付ください | | | | | |
| 発明情報 | 発明の名称 | 出願番号・特許番号 | | 発明者 | 出願人 | 出願日 |
|  |  | |  |  |  |
|  |  | |  |  |  |
|  |  | |  |  |  |
| * 特許化によらないノウハウやソフトウェア等に関する技術の場合は、その詳細について記載 * 技術シーズに関連する、学会発表、論文発表、受賞、または産学マッチングイベントでの発表・展示等がある場合は、それぞれ記載 | | | | | |
| 支援を  受けた  研究資金 | ※　　技術シーズ創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などについて記載  　　　　（起業支援プログラム等も含む） | | | | | |
| 技術の  革新性 | * 技術シーズが、革新性（独創性や新規性）、今までの技術にない経済的価値、及び社会的価値を与える可能性を有しているかについて記載 | | | | | |
|  | 提案課題 | | 競合する類似研究・先行技術 | | | |
| 技術の  優位性 | ※技術シーズについて、競合する類似研究・先行技術と比較した時、どのような点に優位性があるのか、具体的に記載 | | ※比較対象となる研究内容、又は先行技術の文献・特許等の公開情報に関する内容を記載（ただし、直接的に比較できる対象がない場合は記載不要） | | | |

※他の分野の専門家が理解できるように記載してください。

**3．市場ニーズ、社会ニーズ**

|  |  |
| --- | --- |
| 社会的背景（外部環境） | * 経済や市場の動向、人口動態の変化、社会ニーズの変化等、技術の置かれている外部環境について記載 |
| 技術の  有用性 | * 外部環境を踏まえ、技術シーズの重要性や、有用性について記載 |
| 想定  される  製品・  サービス | * 応用分野において想定される用途や人々の生活において想定される使用機会を踏まえ、技術シーズが社会・市場に対して大きく貢献できる製品・サービスについて記載 |
| 市場規模 | * ターゲット市場動向を十分に把握し、その市場規模等について記載 |
| ベンチャー  起業に  向けた計画  ※ある場合は記載してください。 | * 既に特定の起業家（ベンチャーキャピタル等）による事業化支援を受けているか、会社を設立する予定があるか（もしくは設立済みか）、ベンチャーキャピタルによる投資を受ける計画があるか等について記載。 |

**※不明瞭な場合は、連携ベンチャーキャピタルにアドバイスを受けながら記載してください。アドバイスを受けられるベンチャーキャピタルがおられない場合には、共創機構産学共創本部イノベーション戦略部門ベンチャー・事業化支援室が紹介いたします。**

**開発（実用性検証）計画**

* 起業準備までの不足を埋めるために想定される課題の内容と、その課題解決に向けたアプローチ、必要経費を詳細に記述してください。
* 課題が複数ある場合には適宜枠を追加してください
  1. **××××の評価（例）**

|  |  |
| --- | --- |
| 課題の内容 | * 技術シーズの有する革新性を踏まえて、ベンチャーキャピタルから起業準備に向けた活動支援を受けるために、どのような課題を解決する必要があるかについて具体的に記載 |
| 上記課題解決に向けたアプローチと目標 | * 上記課題を解決するために行う開発（実用性検証）について、具体的なアプローチ方法とその目標を記載 * 目標は可能な限り定量的な数字で記載すること |
| 経費とその必要性 | * 上記アプローチに必要な経費の内訳と必要性について記載 |

* 1. **××××に関する市場調査（例）**

|  |  |
| --- | --- |
| 課題の内容 |  |
| 上記課題解決に向けたアプローチと目標 |  |
| 経費とその必要性 |  |

**5.スケジュール**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **２０１９年度** | | | | **２０２０年度** |
| **4～6** | **7～9** | **10～12** | **1～3** | **4～6** |
| 1. ××××の評価 | 作業名 | 作業名 | 作業名 |  |  |
| 1. ×××に関する市場調査 | 作業名 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※ 4．開発（実用性検証）計画に記載の課題毎にスケジュールを記載してください。

※ 適宜枠、矢印を追加してください

**6.必要経費の内訳**

（単位；千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 2019年度 | 2020年度 |
| 物品費（設備備品費）※1 | 0,000 | 0,000 |
| * ●●薬品　一式 * ●●実験器具　一式 | ●●  ●● | ●●  ●● |
| 物品費（消耗品費）※2 | 0,000 | 0,000 |
| * ●●薬品　一式 * ●●実験器具　一式 | ●●  ●● | ●●  ●● |
| 旅費※3 | 0,000 | 0,000 |
| * 国内旅費　（訪問場所、訪問目的） * 海外旅費　（訪問場所、訪問目的） | ●●  ●● | ●●  ●● |
| 人件費･謝金※4 |  |  |
| * 研究員費　　　　　＠　●円　×　●H * 補助員費　　　　　＠　●円　×　●H * 謝金（支払相手） | ●●  ●●  ●● | ●●  ●●  ●● |
| 外注費※5 ※6 | 0,000 | 0,000 |
| * 試作品製作　　（発注先：●●、発注内容） * 実証データ取得　（発注先：●●、発注内容） | ●●  ●● | ●●  ●● |
| その他経費※7 | 0,000 | 0,000 |
| * 文献・データ購入費用　（購入目的、内容） * 機械リース費用　　＠　●円　×　●H * 特許調査費　（発注先：●●、発注内容） * 市場調査費　（発注先：●●、発注内容） | ●●  ●●  ●●  ●● | ●●  ●●  ●●  ●● |
| **合 計** | 0,000 | 0,000 |

各項目全て千円未満の端数が発生した場合は、切り捨てて千円単位で記載してください。

※1：起業に向けた開発及び事業化活動を遂行するために必要な、設備・物品等の購入、製造、又は据付等に必要な経費。基礎研究用途は認められません。

※2：試作開発等の実用性検証に必要な物品で、耐用年数1年未満または単価10万円未満のものを指します。

※3：学会等、学術目的の会合に参加するための旅費は計上できません。

※4：大学等で雇用する博士研究員、研究補助員、技術補佐員等の従事率に応じた人件費等。

※5：起業準備までの不足を埋めるために必要なデータ分析等の請負業務を仕様書に基づいて第三者に実施させる（外注する）際の経費を記載してください。

※6：試作開発や実証データの取得を専門業者に外注または委託することで、実用性検証を加速できる場合があります。専門業者（外注加工先・受託研究機関・人材派遣会社等）に心当たりがない場合は、産学共創本部イノベーション戦略部門ベンチャー･事業化支援室に相談ください。

※7：起業準備までの不足を埋めるために必要な市場調査費や特許出願・維持経費、特許調査費を含みます。原則として設備備品費、再委託費は計上できませんが、起業準備までの不足を埋めるために必須となる場合には、事務局に相談ください。**7．実施体制**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関･部署･役職** | **本課題において担当する内容** |
|  | ××大学  大学院△△研究科　教授 | 例）研究責任者 |
|  | ××大学  大学院△△研究科　ポスドク | 例）～の分析 |
|  |  |  |

**※実用性検証に主体的に関わる人員を記載ください。適宜枠を追加してください。**

（様式２）

**重複申請に関する報告**

**１. 本申請案件と重複する内容で実施中の課題**

**□なし**

**□あり（本申請案件において助成金の支給を受けることができません）**

**２. 本申請案件と重複する内容で申請している他事業への申請状況**

**□なし**

**□あり（両方採択された場合、どちらかを辞退する必要がありますので、**

**応募の前に、事務局までご相談ください）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **申請状況(〇を記入)** | 申請中・実施中・終了済 | | |
| **事業･制度名** |  | | |
| **課題名** |  | | |
| **実施期間** |  | **予算規模**  **（千円）** |  |
| **申請代表者名** |  | | |
| **関係する参加者とその分担額** |  | | |
| **今回の申請案件との関係性･相違点** |  | | |

※ 他にも申請がある場合は、枠を適宜追加してください。

（様式３）

※　2018年4月以降、提出は任意となりました

推薦書

　　年　　月　　日

国立大学法人大阪大学

共創機構産学共創本部長　殿

住所：

企業名：

担当者氏名：

（記載例）

本申請案件が、様式１に記載する課題解決に向けたマイルストーンを達成した場合には、JST-START（大学発新産業創出プログラム）や大阪大学-起業プロジェクト育成グラント等の、ベンチャー起業を通じた研究成果の実用化を目指すプログラムへの応募等を検討したいと考えるので、本グラントへの申請を推薦します。

以上